

横手市農業委員会農地利用最適化推進委員候補者(担当区域順)

令和8年10月14日現在

No.	担当区域	氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況	農業委員への推薦等	推薦者等	推薦・応募の理由	農業委員会の主な業務についての考え			
											①担い手への農地集積・集約化	②遊休農地の発生防止・解消	③新規参入の促進	④農地の無断転用の防止・解消
1	横手	トミオカ ショウゴ 富岡 祥吾	農業	73	男	横手市農地利用最適化推進委員R6.4.1～現在	果樹(りんご・なし) 5,600㎡	—	—	農業を取りまく環境は厳しいが、地域の皆様と話し合いの間をつなぎ、農業委員を助けながら様々な事に対応して行きたい。	早急的な課題であるが、特に話し合い・聞き取りが大事である。	なぜ発生したのか、詳しく聞く事が大事であると思う。	魅力ある賃金が一番の力であると思うので、少しでも価額上昇でやれば出来ると思わせる様な農業にする事ではないか。	解らなかった等ではなくて、良く話し合いをし防止・解消に努めたい。
2	平鹿	サトウ カズヒロ 佐藤 和仁	農業	57	男	横手市農地利用最適化推進委員R6.4.1～現在	水稻 220,000㎡ 施設野菜(ミニトマト) 660㎡	—	—	地域のために貢献したい。	農業後継者がいなくなりつつあり、今後農地がどうなるのかと思い、少しでも地域に貢献できればと思いました。	地域農業の発展に努めたい。	新規就農者の支援に取り組みたい。	農地の維持保全に取り組んで行きたい。
3	平鹿	サトウ ヒデアキ 佐藤 秀昭	農業	56	男	雄物川筋土地改良区平鹿地区維持管理委員R6.4.1～現在 亀田地区総代R6.4.1～現在 JA秋田ふるさと稲作部会副部長R8.4.1～現在 JA秋田ふるさとすもも研究会会長R7.4.1～現在	水稻 11,300㎡ 果樹(りんご・もも・すもも・洋なし) 17,000㎡	—	—	担い手不足による耕作地の荒廃が増えて来ています。 農家の経営が少しでも良くなる為の努力をしていきたいと思います。	・担い手の確保の方法 ・農地の集積や集約化の課題	遊休農地の活用方法	新規就農者を増やす対策	—
4	大森	ヒラモト サエコ 平元 沙恵子	農業	36	女	横手市農地利用最適化推進委員R3.4.1～現在	露地野菜(小玉スイカ) 3,000㎡	—	—	地域の問題を自分ごととしてとらえるため。	現在、農業委員・農地利用最適化推進委員で取り組んでいる地域計画において、現在の担い手や将来的な担い手が浮かび上がリつつある。 地域の状況や個人の希望、その他の様々な条件を考慮しながら、よりよい形でマッチングしていけるようにサポートしていくことが、農地集積・集約化に結び付くだろう。	まずは守るべき農地を重点的に守るため、農業委員・農地利用最適化推進委員で取り組んでいる地域計画ブラッシュアップを着実に行うことが、遊休農地の発生防止になると思う。 農地集約に伴い作業が効率化することで、将来的に遊休農地の解消にもつながると考える。	地域の農産物の良さや地域を取り巻く環境について積極的にPRすることで、農業に対して潜在的に興味を持っている『未来の担い手』にアピールをすることが大切だと思う。 同時に、参入促進ばかりではなく参入後の円滑な経営をサポートし、将来にわたって続けていけるような体制をとれると良い。特に、参入後の資金繰りや制度など、生産に直接かかわらない知識が不足しているために不安を抱える新規参入者が多いと感じており、大切にフォローしていくことが必要だと考える。	無断転用であるという自覚がなく転用しているパターンが多いと思われるため、相談されたり話題に上がったりしたときに正確な情報を提供できるよう、委員ひとりひとりが制度についての知識を深めておくことが大切だ。 また、どういったパターンが転用にあたるのかをまとめて、担い手へ何度も発信していくことで未然の防止につながると思う。